

今週のKinoppy新着情報一 学術書・教養書

書籍画像をクリックしますと、書籍詳細ページへリンクします。



格差と再分配 20世紀フランスの資本

トマ ピケティ【著】山本知子/山田美 税込 ¥16,524 (紙の書籍 ISBN:9784152096210 2016/09刊)
明/岩澤雅利/相川千尋【訳】
早川書房

『21世紀の資本』の原点。フランスの1901-1998年までの約100年間における税務記録を徹底分析し、20世紀の同国における格差の長期的構造を浮き彫りにする。経済学者ピケティの出発点となり、『21世紀の資本』へと連なる記念碑的研究書。電子書籍版ではほぼすべての該当箇所に膨大な参照項目、原注や図表へのリンクを付しています。



米中もし戦わば 戦争の地政学 (文春e-book)

ピーター・ナヴァロ【著】赤根洋子【訳】 税込 ¥2,000 (紙の書籍 ISBN:9784163905679 2016/11刊)
飯田将史【解説】
文藝春秋

トランプ政策顧問が執筆！ ●経済成長のために必要な原油の中東からの輸送ルートは、太平洋地域の制海権をもつアメリカによって抑えられている●空母と同盟国の基地を主体にした米軍に対抗するため、安価な移動式のミサイルで叩くという「非対称兵器」の開発を中国は進めてきた●南シナ海や尖閣諸島の海底に巨大な油田が発見された●南シナ海や尖閣諸島を囲む第一列島線、その内側の制海権を中国は握りつつある●歴史上、既存の大国と台頭する新興国が対峙したとき、戦争に至る確率は70%を超える。経済、政治、軍の内情…。最前線の情報をもとに、米中戦争の地政学を鮮やかに読み解く。トランプの政策顧問による分析で、日本の未来が見えてくる！



MUJI式 世界で愛されるマーケティング

増田明子 税込 ¥1,620 (紙の書籍 ISBN:9784822251963 2016/11刊)
日経BP社

「ムジの知」とは—— MUJIの秘密を徹底解明！ ●「一番普通の形」にする ●人が本能的に「心地よい」と感じるものを作る ●「余白の力」によってそのまま世界中で売れる ●最大公約数が満足する「これ『で』いい」を目指す ●「それ以外」をすべて市場にする ●「個性の一手手前」で止める ●「選択と集中」はしない ●「1+1=1」にする ●「わけ」を伝える時の流れを超えていく、シンプルで地球大の思考法。



自動車成長神話の危機—週刊東洋経済eビジネス新書No.184【電子書籍のみ入手可】

週刊東洋経済編集部 税込 ¥216 (2016/11刊)
東洋経済新報社

自動車産業の潮目が変わった。燃費不正や電撃的な再編。技術変革と環境規制が達成困難な負担を迫っているのか。同時に自動運転やライドシェアの台頭で、販売台数のみを競う時代はもはや終わりつつある。いくつものハードルが待ち受ける自動車業界の今をレポートする。
※本誌は『週刊東洋経済』2016年6月25日号掲載の16ページ分を電子化したものです。



入門テキスト 環境とエネルギーの経済学

大守隆 税込 ¥2,808 (紙の書籍 ISBN:9784492314876 2016/12刊)
東洋経済新報社

日本は昭和の時期の公害問題を克服し、エネルギー効率も最高水準となったにもかかわらず、環境をめぐる問題はまだまだ多く残されている。本書は、環境とエネルギーの問題を経済学から読み解く入門テキストである。文系・理系を問わず、誰のために環境を改善するのか、利害関係が錯綜する時にはどのような基準で考えるべきなのか、問題の性格に応じてどのような解決策が望ましいのか、その成功の程度はどのように測定すればよいのか、など環境問題の様々なレベルで留意すべき問題を対象にしています。



観光立国の正体 (新潮新書)

藻谷浩介/山田桂一郎【著】 税込 ¥885 (紙の書籍 ISBN:9784106106927 2016/11刊)
新潮社

爆買い、インバウンド、東京オリンピック。訪日外国人の急増とデフレの慢性化で、国策としての「観光立国」への期待が急速に高まってきた。しかし、日本のリゾート・観光地の現場には、いまだに「団体・格安・泊二日」の旧来型モデルに安住している「地域のボスゾンビ」たちが跋扈している。日本を真の「観光立国」たらしめるには何が必要なのか。地域振興のエキスパートと観光のカリスマが徹底討論。



医学の勝利が国家を減ぼす (新潮新書)

里見清一 税込 ¥820 (紙の書籍 ISBN:9784106106941 2016/11刊)
新潮社

画期的な新薬が開発され、寿命が延びる。素晴らしき哉、医学の勝利！のはずだった。だがその先に待ち構えているものに我々は慄然とする。爆発的に膨張する医療費は財政の破綻を招き、次世代を巻き添えに国家を減ぼすこと必至なのだ。「命の値段」はいかほどか。我々はいつまで、何のために生きればいいのか。巻末に作家・曾野綾子さんとの対談を特別収録。



バブル—日本迷走の原点—

永野健二 税込 ¥1,836 (紙の書籍 ISBN:9784103505211 2016/11刊)
新潮社

奇跡の復興と高度成長を成し遂げた日本だが、70年代以降、世界経済の仕組みは急速に変化する。グローバル化・金融自由化が進む世界と、変わらないままの日本。その亀裂はやがてバブルを生み出し、全てを飲み込んでいった。日本が壊れていく様を最前線で取材した「伝説の記者」が当事者たちの肉声をもとに迫るバブルの真実。

書籍画像をクリックしますと、書籍詳細ページへリンクします。



ドキュメント 北方領土問題の内幕 一クレムリン・東京・ワシントン (筑摩選書)

若宮啓文 税込 ¥1,674 (紙の書籍 ISBN:9784480016409 2016/08刊)
筑摩書房

鳩山内閣の時に締結された日ソ共同宣言によってソ連との国交が回復し、シベリア抑留者の返還や日本の国連加盟などが実現した。しかしそれには、ソ連ばかりでなくアメリカの思惑や米ソの確執、それに何よりも自民党内の激しい権力闘争を克服しなければならなかった。同時に、「北方領土問題」はここから始まったのである。1990年代以後に次々に明らかになった新資料を用いながら多くの謎を読み解き、日本外交の原型と可能性をも浮き彫りにする。



哲学史講義 III (河出文庫)

G・W・F・ヘーゲル【著】 税込 ¥1,620 (紙の書籍 ISBN:9784309466033 2016/11刊)
長谷川宏【訳】
河出書房新社

揺籠期を過ぎた西洋哲学は、ストア派、新プラトン派を経て中世へと進む。エピクロス、フィロン、トマス・アキナス……。哲学者たちの苦闘の軌跡をたどる感動的名著・名訳の第三巻。



生きるための哲学 (河出文庫)

岡田尊司 税込 ¥777 (紙の書籍 ISBN:9784309414881 2016/11刊)
河出書房新社

生きづらさを抱えるすべての人へ贈る、心の処方箋。学問としての哲学ではなく、現実の苦難を生き抜くための哲学を、著者自身の豊富な臨床経験を通して描き出した名著。



過酷なるニーチェ (河出文庫)

中島義道 税込 ¥777 (紙の書籍 ISBN:9784309414904 2016/11刊)
河出書房新社

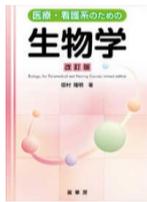
「明るいニヒリズム」の哲学者が「誰の役にもたらず、人々を絶望させ、あらゆる価値をなぎたおす」ニーチェに挑む。生の無意味さと人間の醜さの彼方に肯定を見出す真に過酷なニーチェ入門の決定版。



日本文法体系 (ちくま新書)

藤井貞和 税込 ¥918 (紙の書籍 ISBN:9784480069269 2016/11刊)
筑摩書房

日本語文法を理解するには、日本語の起源から問いなおさねばならない。日本語の発展史に即した文法理論が必要であり、西洋語の文法を日本語に当てはめた現在の学校文法に代えて、新たな文法体系を打ち立てねばならないのだ。日本語の隠れた構造を明らかにし、豊富な古文の実例をもとに、日本語文法の本質に迫る。まったく新しい理論体系。



医療・看護系のための生物学 (改訂版)

田村隆明 税込 ¥2,916 (紙の書籍 ISBN:9784785352332 2016/09刊)
裳華房

生物学が扱う幅広い領域の中でも、医療系に必須の「生物の原則」基礎生物学と「ヒトに関する基本」基礎医学を大きな柱として解説し、延べ200校以上の学校でご採用いただいた教科書の改訂版。図表を豊富に用意し、コラム、解説、疾患ノート等の囲み記事で生物学や医療・疾患にかかわる事項を説明する。



代数学と幾何学

矢野健太郎 税込 ¥4,104 (紙の書籍 ISBN:9784785310103 2012/03刊)
裳華房

長年、理工系の大学1年生に課せられている「線形代数」は、多くの大学で必修科目になっているが、今から40年ほど前に、「代数と幾何」という科目の取り扱い範囲と名称が変わったものである。



水力発電所の電気設備

千葉幸 税込 ¥3,024 (紙の書籍 ISBN:9784485429419 2000/09刊)
電気書院

最近では、水力では揚水発電が普通になり、揚水時には発電機は電動機となり水車はポンプとして運転されるようになってきました。水車発電機本体の構造や運転にあたってのいろいろな問題点を解説しています。付帯設備として励磁装置、AVRなどの構成と機能、保護保安装置などについて説明しています。小容量発電に使用される誘導発電機、励磁電源を自己供給する自励発電機の構造や特徴も含まれています。



戦争がつくる女性像 (ちくま学芸文庫)

若桑みどり 税込 ¥918 (紙の書籍 ISBN:9784480085375 2004/06刊)
筑摩書房

第二次大戦中、日本の軍部は戦時体制の中で女性をどのように位置づけていたのだろうか。またその役割へと女性たちを動員するために、国家・メディアはどのようなプロパガンダを展開したか。本書は、戦時下において160万部の発行部数を誇った「主婦之友」をはじめとする婦人雑誌の表紙や口絵の絵画作品を徹底的に検証し、「戦時文化」のイメージが女性をどのように戦争へ誘導していったかを解き明かす。

研究者・図書館・法人のお客様のためのオンラインストア

紀伊國屋書店
BookWeb Pro
https://pro.kinokuniya.co.jp



紀伊國屋書店電子書籍アプリ
Kinoppy



お問合せ先: **BookWeb Pro課**
Mail: bwpro@kinokuniya.co.jp
Tel: 03-6910-0527 Fax: 03-6420-1370